地区情報交換会

下都賀地区

令和７年１月18日、大平健康福祉センターにて下都賀地区（壬生町、野木町、小山市、栃木市、下野市）との情報交換会を開催しました。

冒頭に、栃木県ＰＴＡ連合会揚石会長、熊倉下都賀地区ＰＴＡ連合会長による挨拶が行われ、続いて県Ｐ連の役員より活動報告、次年度の組織変更等の説明があり、今後県Ｐ連として委員の負担軽減とやりがいのある組織づくりを行っていく方針であると語られました。

【各連合会の活動報告】

壬生町ＰＴＡ連合会からは主に藤井小学校の、小規模校でありながら周辺地域との繋がりを多く持ち、近隣高校や中学校、さらに周辺企業や地域消防団との交流を行い、多くの人々と交わる機会を作り、ひいては防犯や防災に役立っているとの発表をされました。

小山市ＰＴＡ連合会からは、毎年行われている教育研修会と情報交換会の活動が発表されました。

教育研修会は保護者だけでなく、近年子どもたちが参加出来るイベントにシフトされ、好評を得ているとの事です。情報交換会では市内各学校のＰＴＡ役員が集まり、他校の取組や情報を共有しているそうです。

栃木市ＰＴＡ連合会からは、各ブロックの発表が行われました。栃木市では各ブロックで研修内容を検討して研修会が実施され、それぞれのブロックごとに地域を意識した取組等の説明がされました。

下野市ＰＴＡ連絡協議会からは、校長先生や教育委員会との年２回の座談会や上映会等の発表をされました。下野市ではコミュニティが衰退している地域がある事が問題とのことでした。

その後の意見交換会では、他の地区の取組についての質問等があり、活発な意見交換が行われました。その中でも次の役員を探すのに大変苦労されている学校が多く、そのために組織をスリム化したり、役員の負担軽減のために業者を有効活用したりと、各学校それぞれの方法で注力しているのだと感心させられました。最後に揚石会長から「役員が笑顔でいること」が子ども達のためになると締めの挨拶で終了しました。

「やはりＰＴＡ役員は大変だった」と思われるより「ＰＴＡ役員をやってよかった」と一人でも多くの方に思ってもらえるよう、このような情報交換の場を増やしていく必要があるのではないでしょうか。

短い時間ではありましたが、皆様から多くの意見を聞き、貴重な会に参加することができました。

小山市ＰＴＡ連合会顧問
白井　利昌

安足地区

令和７年１月23日、足利市生涯学習センターにて安足地区（足利市、佐野市）との情報交換会を開催しました。栃木県ＰＴＡ連合会揚石会長はじめ各地区から総勢24名での意見交換会となりました。

はじめに栃木県ＰＴＡ連合会の活動報告と新年度からの組織変更のご説明がありました。

新組織移行の目的としては会員様の負担軽減（人数３割減）と、各委員会のやりがいを重視し再編いたしました。

佐野市では、５年ぶりの学校給食試食会を佐野市北部給食センター様のご協力を頂き開催することが出来ました。

市内の各小中学校ＰＴＡ総勢65名の参加があり学校で子どもたちが給食配膳を行っている方法と同様に配膳をし、その後皆様で試食しました。

当日のメニューは子ども達に人気のカレーライスとブロッコリーサラダでした。最後にブロッコリーサラダのレシピを教えていただき、参加された皆様満足されていたようです。

佐野市Ｐ連は２月８日に結成20周年教育フォーラムを開催予定です。約８００名の参加が予定されています。その内１６４名がお子様の参加です。講演内容がお子様にも参加していただきたい内容になっております。

足利市では、ＰＴＡ会長研修会ではマインドマップの手法を学び、自らマインドマップ作成の体験をすることで、思考整理の手段や方法を今後のＰＴＡ活動が充実するよう実施しました。教育懇談会では足利市内各校の通学路の状況や児童生徒の登下校の実態を知り、情報をもち寄ることで、登下校時の懸念事項を保護者・学校・行政で共有し約２０００人のアンケートをもとに「足利っ子のためのハザードマップ」の作成をしたようです。

県Ｐ連をはじめ各地では様々な課題があり、その課題に対して向き合いながら、子どもたちのために楽しく行うをモットーに活動していけたらと思います。

佐野市ＰＴＡ連合会理事
阿部　康